

課 題	2	高齢者、障害者など誰もがいきいきと暮らせる地域社会づくり
重点項目	8	介護サービス基盤整備の推進

目的

介護保険事業計画に基づき、自宅での生活が困難になった要介護高齢者のための特別養護老人ホーム及び在宅生活の継続を支援する短期入所生活介護や地域密着型サービスを整備します。

対象・手段

対象:特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)、短期入所生活介護、地域密着型サービス
 手段:国有地等公有地及び施設整備に対する補助金を活用して、事業者を公募(プロポーザル)し、民設民営方式により整備します。

重点項目の方向

在宅生活の継続を重視した介護保険法の改正に伴い、地域密着型サービスの整備を推進するとともに、在宅生活を継続することが困難になった要介護高齢者のため及び療養病床再編成への対応策のひとつとして特別養護老人ホームを整備していきます。

成果指標

指標名		定義		目標水準		
特別養護老人ホームの定員の整備数		区内特別養護老人ホームの整備目標数		(平成22年度に)	(450人)の水準達成	
小規模多機能型居宅介護の登録定員の整備数		区内小規模多機能型居宅介護の整備目標数		(平成20年度に)	(225人)の水準達成	
認知症高齢者グループホーム定員の整備数		区内認知症高齢者グループホームの整備目標数		(平成22年度に)	(114人)の水準達成	
重点項目の達成状況						
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
重点項目 成果指標	目標値1	人	450.00	450.00	450.00	目標達成率は、本表作成時の、各指標の最終目標値対比で表示しています。
	実績1	人	270.00	270.00	270.00	
	目標達成率1 = /	%	60.00	60.00	60.00	
	目標値2	人			225.00	
	実績2	人			24.00	
	目標達成率2 = /	%			10.67	
	目標値3	人	114.00	114.00	114.00	
	実績3	人	60.00	65.00	75.00	
	目標達成率3 = /	%	52.63	57.02	65.79	

所管部	健康部
-----	-----

主な取組み

小規模多機能型居宅介護：事業者公募(5事業所分)。1事業所開設。
 夜間対応型訪問介護：事業者公募(区内に1事業所)。1事業所開設。
 認知症高齢者グループホーム：1所開設(ワセダグループホーム)、定員増(1所5人→6人)、事業者公募(4ユニット分)。
 特別養護老人ホーム：百人町四丁目国有地を活用した施設整備(19年2月着工)、矢来町都有地を活用した施設整備(19年2・3月地域説明会開催。認知症高齢者グループホーム併設)。

課題

夜間対応型訪問介護事業所の整備は完了し、百人町四丁目国有地を活用した特別養護老人ホーム整備事業及び矢来町都有地を活用した特別養護老人ホーム整備事業は、それぞれほぼ予定通り進んでいます。
 今後は、小規模多機能型居宅介護及び認知症高齢者グループホームの整備を進めていく必要があります。

評価

総合評価	
<p>地域密着型サービスのうち夜間対応型訪問介護事業所は整備目標を達成し、特別養護老人ホームは2か所で整備事業が進行しており、概ね順調に進んでいます。 しかしながら、小規模多機能型居宅介護の事業所や認知症高齢者グループホームは整備が進みませんでした。</p>	D

今後の取組み・改革の方針

今後、要介護高齢者が、在宅生活が困難になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるようにするために、特に地域密着型サービスを提供する事業所の整備を進めていく必要があります。
 今後は、整備の進まない理由を分析するとともに、地価が高い等の課題については、公有地の活用を含め整備の方法を多角的に検討します。

重点項目を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
介護サービス基盤整備の推進	D	43		